

広報 **ながはま** 1月号



△ テープにハサミを入れる (右から) 菊地町長・西田代議士・白石知事・広川建設省道路局長代理・赤松県議会議長



▷ 渡り初めをする三世大家族

晴れやかに渡り初め
12月21日 新長浜大橋竣工

長浜音頭

作詞 佐川恭子

- ハア一 伊予の長浜 花咲く港
出船入り船 大漁船
金波銀波の 伊予灘沖に
浮かぶ青島 したわしや
ナンナン ナガハマ ヨイトコロ
ソレ ドドント ドント ヨイトコロ
- 二 春は沖浦 観音さまへ
渡る大橋 花ふぶき
潮の香りと みかんの花の
匂い優しや なつかしや
- 三 夏の遊びは 海水浴よ
白い砂浜 青い松
赤い夕日が 沈んだあとは
うるむ漁り火 うつくしや
- 四 秋は白滝 紅葉の錦
雄滝雌滝の 水しぶき
濡れてしのべば りり姫様の
ゆかり哀しや いたましや
- 五 冬の眺めは 出石の峰と
すそを流れる 清流の
龍がふくのか 脇川あらし
浜っ子意気地を みておくれ

町民音頭の歌詞決まる!!

80編から佐川さん[大洲]の作品

～たくさんのご応募ありがとうございました～

「私たちの町に私たちの歌を」ということで「町民音頭」を作ることになり、町では去年の十一月中を応募期間として回覧文書や有線放送、新聞、テレビ広告などで「歌詞」の募集を行いました。その結果、六十人の方から八十編（うち町外からは九人十三編）という予想以上の応募があり、町民の歌作製委員会（町内の有識者十八人で構成）でも大変うれしそうで、さっそく審査にとりかかりました。そして、今後半永久的に利用されるものという重要性から約二十日間をかけての慎重な審査が行われた結果、「長浜音頭」の佐川恭子さん（三三三）の作品が上記紹介が決まり、また、佳作には八幡浜市の岩本義孝さん（三九）と長浜十二区の境良恵さん（五五）、松山市の榎本嘉一さん（七三）の作品が選ばれました。

歌詞が決まったことで、作業は作曲の段階に入りますが、作曲はプロにゆだねることになっていることか

ら、場合によっては曲との調整上、歌詞は一部補作される場合もあります。歌手などは未定。

国保高額療養費支給 払い困難な家庭へ 「貸付」スタート

大きな手術をしたり、長い期間治療を受けなければならぬ病気になったりした場合、その療養費はぼう大な額になることがあります。その療養費の支払いについては、国民健康保険（国保）の場合ですと三割を国保加入者個人が負担しなければならぬことになっておりましたが、その三割の金額が一月分につき同じ医療機関で三万九千円を越える場合は、その越えた金額は高額療養費として約二か月後に国保から個人に払い戻されることになっていました。

ところが、その払い戻しがあるまでには、普通の場合ですと病院側に支払いを済ませなければならぬ場合が多く、多額なため中に

はその支払いに困られる方があると思われま。そんな方のために町では、高額療養費支給見込み額の九〇％以内の金額を、高額療養費が支給されるまでの間無利子でお貸ししようという貸付制度を一月一日からスタートさせました。資金は国保連合会から借り入れたもの。

貸付条件は次の通りです。ご利用の際は役場衛生課国保係までお申し込みください。

貸付対象者 長浜町国民健康保険（国保）に加入している方で、高額療養費の支給を受ける世帯主。ただし、国保税を滞納している世帯主で町長が適当でないと思めた方は除きます。

貸付額 高額療養費支給見込み額の十分の九以内。（千円未満は切り捨て）

貸付期間 高額療養費の支給があった日の翌日まで。

返済方法 全額一時払い

このほかくわしくは国保係へ。



衆議院議員

西田 司

あけまして

おめでどうござります

新春を迎え謹んで皆様のご清祥を寿ぎ申し上げます。私も皆さんの熱烈な負託を頂いて国会に席を置いてから丸一年、一年生議員もようやく二学期を迎えたような格好であります。何れともあれ、皆様から賜りたいお話、申し上げたい話は山ほどありますが、一つの身体に限りがありまして心ならずもごぶさたの多いことをまづもっておわびいたします。舞台は異なりましても、私にとって父の時代から歩み続けてきた同じ政治の道でありますから、広い視野から我が郷土長浜町をながめられたとき、その良いところも悪いところも、進んだところも遅れているところも一層明りように分かってまいります。しかし残念なことに、長浜町が我が国の優等生レベルに至るにはまだまだ遠い道程のへだたりに感じます。それゆえに、私たちの町を一日も早く全国水準まで追いつかせ、追い越させるための戦いには格別のフアイトが燃えあがっております。

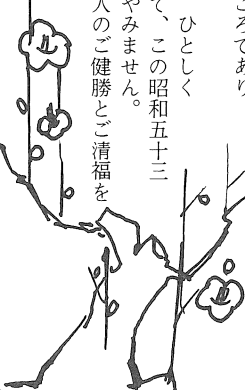
現在の不景気は、年が明けたからといって、すぐまた高度成長時代のように向きを変えようというようないものではないと、相当の努力を払ってもなおかつ低成長、いわゆる安定成長の経済運営となることは明白であります。

このような中で長浜町をみた場合、と

もかく新しい開発を加えなければどうしてもほかに前進する道はありません。この糸口をつかむこと、そして第二次開発受け入れの準備基盤ともいうべき道路、港湾、都市計画等の整備に渾身の努力を注ぐことが当面の課題であると思えます。特に国道三七八号線の早期完成と長浜港の大規模改修は、将来、西瀬戸内における長浜の重要かつ決定的な位置付けとなるものであります。長浜小学校の改築をはじめとする文教施設の充実と町民運動公園の新設といった健康な社会生活への環境造りも急務の問題であります。町当局並びに町議会議員各位はもちろん、広く町内各分野にわたる皆様方の英知とご支援を賜って、私も力一杯悔いのない活動に身を挺し、二学期の成績を飛躍的に向上させたいと決意しているところであります。

経済不況の時流にめげず、ひとしく皆様が凛々たる勇氣をもって、この昭和五十三年を出発されるよう願ってやみません。

なお各家庭のお一人お一人のご健勝とご清福を心から祈念して新春のごあいさつといたします。





新年を迎えて

長浜町議会議長 菊地 満 男

町民の皆様、あけましておめでとうございます。

新しい決意と希望に満ちた輝かしい新春を皆様と共に迎えることができますことは、まことにめでたく心からお祝い申し上げます。

また、ここに改めて昨年をかえりみ、皆様方の格別なるご支援ご協力に対し衷心より厚く感謝を申し上げる次第であります。

さて浅学非才な私が昨年十月町議会においてはからずも議長の重責を負うこととなり、いまさらながらその使命の重大さを痛感いたしましたうえは議会の円滑な運営と町民の皆様方の声が町政に反映されるような状況づくり、ひいては町政のより一層の伸展のため努力を続けて参る所存でございます。



暮れた訳であります。

一方、町民の皆様方の町政に対するご要望はますます高まっており、この様な状況の中で迎えた昭和五十三年は長浜町にとって極めて重

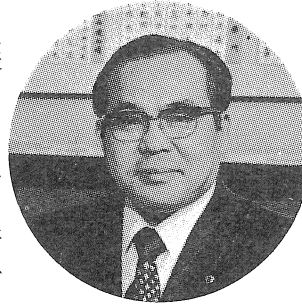
年頭にあたって

長浜町長 菊地 嘉彦

昭和五十三年の新春を迎え、皆様と共に一陽来福を心から祝いたいと存じます。

昨年は世界的な経済不況に加え、町内の情勢においても何かと多事多難の様相がただよい、町民各位にもご心労を煩わせたことと存じますが、幸いにして賢明な皆様方の良識の支えをこうむり、また町政最大の基盤であります町議会議員の改選も無事と行われまして、全く心気一転、新たな出発の気構えをもって一九七八年の新春を迎えることができました。私にとりましては特に任期最終の年として身の引き締まる感慨を覚えておるところであります。

本町には振興発展の基本路線である臨海工業開発をはじめ、重要な各種公共施設の整備その他の課



命に低落することは明りようであります。

私はこの最後に残された任期の大切な時間を、私どもの偉大なる大先達である前町長西田司代議士

題が山積しております。いかに成長時代、不景気時代であるとはいえ、ある程度のスピードを加えてこれらの課題の解決をはからなければ日ならずして後進地域の運

と、清新はつらつの気みなぎる長浜町議会、ならびに大局を正しく認識される住民各位の英知の三本の柱の一つに束ねて、明るい希望への方向づけを積極的に試みたいと考えております。何はおいでも景気回復の課題は前年に引き続き最重要であります。国、地方を通じてのその刺激対策と結びつけた振興施策が私たちの一つの大きな期待でもあります。

足踏み状態から一歩前進へ、昭和五十三年を私はこのように見、このように覚悟を据える次第であります。

住民の皆様各戸、お一人お一人の上にもひとしく前進と繁栄、明るくさわやかな幸福が訪れるよう祈つてやまない次第であります。

要な年になると思われます。幸い長浜町民積年の悲願であった西田代議士の誕生によって、西田代議士を頂点に執行機関である町理事者と相協調し、国県に対しその対策を強く働きかけますとともに、町議会は町民の代表として議決機関の機能を最大限に發揮しつつ、町民皆様のご期待に添うよう努めてまいります。

楽しく住みよい町づくり、豊かで働きがいのある町づくり、美しい人情と文化の町づくりのためにどうか昭和五十三年が町民の皆様にとりまして幸せな年であり、またよう心からお祈り申し上げます。町議会の代表として私の新年のごあいさつといたします。

『献血表彰についておたずね』



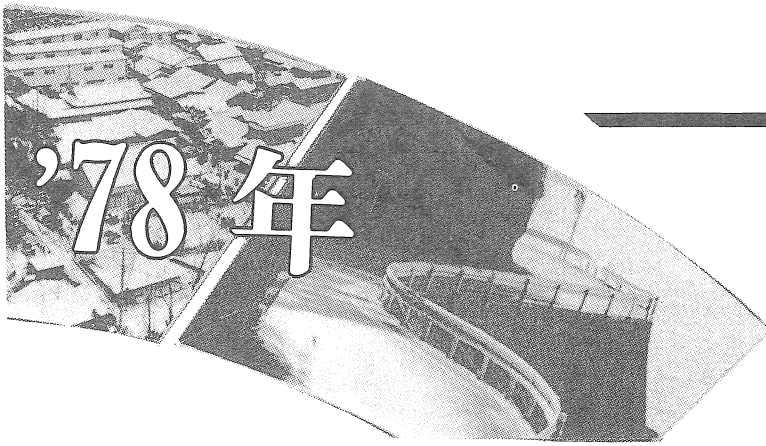
声：私は去年の春、松山で手術を受けることになり、病院では輸血のため献血するよう言われましたが、家族にも献血者がありませんでした。親しい知人に手帳をお借りしたところ、その方は今春で二十一回献血をされており、病院でもほめておられました。そこでおたずねしたいのですが、広報ながは十一月号によると献血表彰（銀色有功章）を受けられたのは役場の坂井課長だけでしたので、念のため本人に連絡しましたところ「表彰してもらうために献血しているわけではないから」との返事でした。役場の職員だけ表彰して町民はしないのでしょうか。

……町内一町民

お答え：三十回以上五十回までの献血者に与えられる「銀色有功章」などの表彰は、日赤血液センターが昭和五十年度から行っているものです。そこで、おたずねの件について、さっそく同センターに問い合わせる一方、町の献血台帳もつづきに調査しましたが、五十一年度に白滝の森川さん、五十二年度に柴の坂井さんと各一人ずつで、そのほかには双方とも該当者が見当りません。

しかし、このことは投書者の方ご本人が利用された上で確認されたことですから、台帳への記載漏れということも考えられます。そこでお手数ですが、その方の住所とお名前を至急役場衛生係にお知らせ頂ければ幸いです。よろしくお願いたします。

新春登壇



'78年



家族の憩いの場は、家庭である。わが家は、年寄り夫婦と子供三人の七人家族で、近所では大家族の部類に入る。今年は一一人の生活がどのように展開するだろうか...

私はその一員として、みんなの心と体の健康保持に努めたい。個々を尊重し、長所、短所をよく理解し、お互いの弱点を補い、助け合い、協力し合う中から、和やかさが生れる。子どもたちへは、小さいときから道徳を教え、安心して広い世界に生きていけるような土台をつくる家庭を作りたいと思う。また、全員が健康な体で労働に、勉強に、遊びにまい進できるように毎日の食事に気を配ること。野

再吟味し、明るい家庭づくりを励む



河村 和子 (36歳) 出海・主婦

菜はほとんど自給し、おやつもなるべく手作りで与えたいと思う。

「向こう二軒両隣り」とか「遠くの親せきよりも近くの他人」などと言われるように、近所隣りの助け合いも大切にし、子どもよりもよい成長のためにも、大人が家庭にこもらないで、つきあいがスムーズに行くようにと願う。

私の家庭では、父母が何かにつけよき相談相手であり、祖先からの文化や生活の様子などを折に触れて聞く。その姿を学びたいと思う。私は今また、家庭のことを再吟味すると同時に、明るい家庭づくりに励みたいと思う。

年齢二十六歳ともなれば職場ではもちろん、社会的責任も大きいことを常々認識する。そんなことから、やはりこの一年はとくに私の仕事に対して心を向ける年としたい。

私の年齢はわずかが前が青春時代である反面、わずが後は、いや、すでに今はもう実質的な大人の社会人としての責任を問われるときである。今の自身の身の振り方がこれからの将来の私を決めることになるはずである。い縮する姿でなく、はばたく姿勢でこのことに心してみたいと

充実ある仕事を



池田 忠幸 (26歳) 今坊・会社員

思うのである。

後先になつたが、私は松山へ毎朝七時前の汽車で出勤し、家に帰るのは夜八時より早くにはならない。夕食はそれからといったリズムの生活である。

そこで、もう一つ思うこと、気を配りたいことは「健康」のことである。充実した仕事を行うためには最も大切なことである。休日には心身ともに疲れをほぐせる日とし、日常においてはスタミナの源である睡眠時間もふやせるよう努力したい。

私はこのような生活であったため、私の町の行政については正直言って無関心であったが、私自身を見つめる中で、そのことにも認識を深められるようなゆとりを得たいものだと思う。が、今、強い町政に望むことを挙げるなら、やはり、近くに望ましい職場が欲しいものである。

大正も既に遠くになりけり。静かな山のたたずまいに田園交響楽を聞き、四季折々の色どりをながめつつ明け来て、流れる水のごとくに容赦なく流れる年月とともに選歴の声を聞き、我ながらその速さを疑うほどに驚きつつ思い出の糸をたぐってみたいと思う。

よるこびのあしたも苦難の夕べも、今にして思えば遠いなつかしい昔の夢、尊い教えである。働けど働けどなお我が暮らし楽にならざり、じつと手をみる。啄木の詩のごとく軍人家族の敗戦の痛手は大きく、あるときは病魔におかされ、また、不慮の火災にあい、幾多の辛酸を

平凡でよし、健康で自分の仕事大切に



久保 七葉 (59歳) 豊茂・農業

なめた試練の嵐も私に与えられた運命なのである。

ここが仏壇文箱はことと焼跡のくすぶる中に灰掘る。わざわいに人の情をしみじみと寒月冴ゆる焼跡におもう。

は、正直の頭に神宿る。の古いことわざが正直者が損をする。現在の実情ではないであろうか。何はともあれ、今年私の生まれ年。孫の成長を楽しみに、平凡でいい、事故もなく皆健康で各自の仕事を大切に祈り、西田新代議士を生んだ風光明媚なこの故郷長浜を、より豊かに明るく美しく努力していただき関係各位に感謝しながら、文化の発展とともにさらに人情豊かな住みよい町へとこいねがってやまない。

ぼくは、今年五年生になる。小さい時からあまり体が元氣な方ではない。いままでも熱がでたり気持ちが悪くなったりして、よく保健室で休んでいたりがあった。だから今年はずんと体をきたえようと思う。

そのために、かけ足をもつともつしようと思う。去年は二十五万メートルぐらい走れたが今年、走れないかもしれないでも体をきたえようという意味でがんばって、二十五万メートルぐらい走ろうと思う。

次に、ぼくは、とくに言葉を知らない。それでぼくの、思っていることがはっきり言えないことがあったり、わかっていてもうまく言えないことがあった

走って体きたえる本をたくさん読む



矢野 史俊 (10歳) 下須戒 大和小4年

りする。それで今年本をたくさん読むようにしたいと考えている。本を読むと言葉も覚えるし、漢字も覚えるし、文もうまくなるし、勉強にもやくだついろいろなことがわかるので、どうしても本を読みたいと思っている。

いままでもいろいろなことを書きたいけど、できるかどうかかわからないが、一しようけんめいがんばりたいと思っている。



私の



除夜の鐘が鳴り響く。どこでもここでも「おめでと」とことばを交わす。そのとたん、新しい年を迎えたんだ」という実感が込み上げてくる。と同時に、この年の数知れない期待と不安に巻き込まれるのが今の自分である。中でもとくに心に強く押ししかかってくるのが「受験」。

あと受験日まで二か月余り、最後の追い込みである。泣いても笑ってもあと二か月。こうなるも勉強の面よりも心に対しての準備を要求してくる。そのためにも新年を迎えた心構えは必要以上のものがある。

近い自分の未来に希望をもつて



城戸 健二
(15歳)
榊生・学生

「決意」。

このことばは、今のぼくの心の動揺を取り除く上で、もっとも大切なものである。

将来、自分の生き方、自分の進むべき方向を捜し出すための進学や高校生活三年間の中で、必ず自分のレールを見つけ出し、そして、みずから運転し、健全に走りつづけたいと誓う。

当面の目的からの決意であるが、少なくとも「進学してよかった」と言えるように、希望をもってゆきたいと思う。

私は大正十四年二月に旧長浜町船津家に来て、俗に言う夫婦共稼ぎで茶わん一つハシ一つの出発であった。

主人の一本つり漁業に従事して子ども九人男三人、女六人の子持ちとなり、戦時中は人と言えない苦勞をしたが、戦後子どもたちも次々に社会に出て仕事をしてくれるようになり、昨年は長男が住居を新築してくれた。

私自身も町漁協婦人部長として九年間、歴代組合長さん始め皆様方にかわいがられ、現在は老人クラブ鶴亀会に入つて老後を楽しませて頂いており、感謝している。

ところで、私の最後のお願であるが、社会福祉施設の完備

憩いの家建設に夢



船津 マツコ
(69歳)
長浜・無職

を熱望してやまない。本町も西田先生を国会に送ることができた。また、今回は新しい町議会議員の改選も終り、立派な方々がご当選になった。どうか私どもの日ごろの念願である三世代の話の場となる「憩いの家」を建設して、老いも若きも楽しく話し合える活気のある長浜町を一日も早く取り返してくださるよう、心からお願ひしたい。

石油ショック以来の暗い経済見通しの中で一九七七年も不況と諸物価、公共料金などの値上げ、また、空の上では私たちにハイジャックという狂乱的な迷惑を与え、好ましくない情勢の内一年が過ぎた。私は新春を迎えるたびに「今年こそは」と思うのであるが、月日が進むにつれて崩れるが、しかし、今年こそは私の信念にかけてやらなければいけないと思う。というのも私が商売の道に入つて十年を迎えるからだ。今まで回りの人たちにいろいろと勉強をさせて頂いたことを足場にして、一歩一歩前進し「自分の商売」をやつてみたい。過疎地の商売は大変なことである。私たちの商売は製造販売であり、サービス業で、現金販売であるから、いかにして現金で良い材料を安

信頼される商売人目ざして



佐野 正道
(34歳)
長浜・商業

く仕入れ、良いアイデアのもとに一人でも多くのお客様に喜んで安心して食べて頂いて利益を上げることと常に心がけておく必要があると思う。それには健康管理、食品衛生、また、とかく忘れやすい、義理人情を失うことなく、人に信頼される売人になれるよう全力で実行したいと思う。私は旅行が好きだ。子どもに「良く遊び良く学べ」ということを教えてもらったが、今一層努力し明日への希望を持ちつつ商売に取り組んで行きたいと思う。最後に、この長期不況と人口の伸び悩みは私たち商工業者にとつても一日も早く歯止めをして頂きたいことである。

昨年の新春向けテレビ放送で長浜あらしが画面に映り、大変感動し改めてわが町を見直したものである。思い出すと遠い昔のこと、私が小学校二年生のとき、秋の遠足に宇和盆地より鳥坂峠を登り南久米へ行つたことがあった。鳥坂峠から見下ろす喜多郡は、一面白い霧の海、それにあちこちに松がぼつかり浮んでいて、まるで墨絵でも見るようで美しくすばらしい眺めだった。この風景が子ども心にとっても印象づけられたものだった。この美しい景色を見下ろす場所へ嫁ぐとは……。そして九十五年の新年を迎えた。考えて見

健康を感謝し、暮しに努力を



徳田千恵子
(46歳)
戒川・農業

るともう戒川での生活の方が長くなった。十年一昔とは昔のこと。今は一年一昔とか。目まぐるしく変わる時の流れにはただ驚くばかり。豊作貧乏だのということばが現実となり、増産を尊び収穫を喜び合った以前が懐しくさえ思われる。貿易自由化の波に押し流されて、これといった安心して生産できる農林産物の決め手が無いのが現状で、何とか国の政策での救いを待つばかりである。

ところで、先日婦人学習の際講師の方の話の中に「健康をお祈りする人はあつても考える人は無いのでは」と。そういうを唱えながら勝手なお願いばかりして来たようである。新年を期に健康を感謝し努力して、そして考えるかしい主婦に、そして明るい長浜町民になりたいものだと思つている。

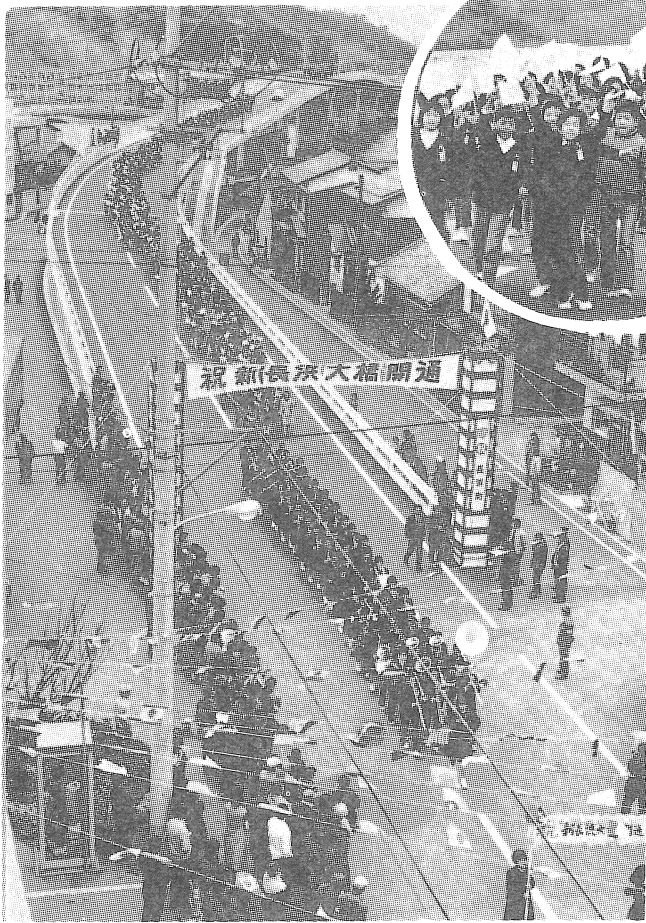
小旗打ち振り喜び祝う

知事 『中予と南予結ぶ重要橋』 式辞

待ちに待った新長浜大橋が約五年の歳月と十三億二千八百万円をかけてついに完成。特有の長浜あらしもなく、ときおり師走の薄日のさす十二月二十一日、愛媛県の主催で華やかに開通式が行われ、町内外の皆さん約八百人が盛大な渡り初めをして新しい動脈橋の完成を祝いました。

新長浜大橋開通!!

午前十時半、沖浦側の
肱川河口突堤付近から新
大橋の誕生を告げる花火
が打ち上げられ
と白石愛媛県知事、広川建設省
道路局長代理、西田代議士、赤松
愛媛県議会議長、菊地町長が紅白
のテープにハサミを入れ、アーチ
型の新国道橋に沖浦側からの第一
歩を踏み始めました。そして、そ



333mの長大橋も1列に連なる盛大な渡り初め・記念パレード。
円内は日の丸の小旗を打ち振り旗行列する長浜小学校児童たち。



のあとに下須戒の山本勉さん、戒
川の山本正さん、豊茂の小西豊己

さん、沖浦の松岡文恵さん、柴の
山下晃さんら一家五組のめでたい
三世代家族、
国、県、町外
市町村関係者
らと続いて約
五十台を歩い
たあと乗用車
やバスに分乗
約四十台を連
ねて町体育館
前まで渡り初
めをしました。
続く後には町
内の団体およ
び個人関係者
らが三百三十
三台を終始歩
いての渡り初
め、さらに列
は長浜中学校

沿道には大ぜいがつめかけ長浜町民みんなの喜び
ムードでいっぱい。

生徒のプラスバンド、長浜小学校
児童五百九人総出の旗行列・鼓笛
隊の記念パレードへと連なり、パ
レードは大ぜいの人々が日の丸の
小旗や拍手で迎える役場前、本町
通りなどを行進して開通を祝いま
した。

一方、午前十一時からは会場を
町体育館に移して竣工式が行われ
式辞に立った白石知事は「この大
橋は中予と南予を結ぶ重要な役割
を果たすものであり、長浜臨海工
業開発を起点として発展するこれ
からの新しい南予を担うものであ
る」とあいさつ。工事概要の説明、
工事関係者の表彰のあと西田代議
士ほか三氏が祝辞を述べました。
式典終了後は直ちに町主催によ
るもちまきと祝賀会に移り、体育
館特設場からまかれる約百五十名
のもち拾いに二百人余りがつめかけ



祝賀行事のフィナーレ、万歳三唱をする出席者（祝賀会で）

てにぎわったほ
か、祝賀会では
アトラクション
に豊年踊りが披
露されるなどし
て祝賀ムードを
盛り上げました。
新長浜大橋の
完成、お互い
おめでとうござ
います。
なお、この新
大橋のそのほか
の概要は次の通
りです。
幅 11.5m（車
道7.5m、歩道一
・五.5m両端。高
さ 11.5m 水面からケ
タ下まで満潮時
で10.5m。型式 Ⅱ
五径間連続P・
C有鉸ラーメン
橋。南予で最大。



議会

第5回臨時会

長浜町議会の第五回臨時会が十一月二十五日、町体育館で開かれ、町からの案件二つと議会報告案件四つが上程され審議された結果、原案通り可決、また、陳情文書はいずれも受理採択されました。可決および採択されたことのおもな内容は次の通り。

を答申することで審議を求めた結果、原案通り承認されました。

今坊海面埋め立て 異議のない旨を答申

国道三七八号線改築工事にとともに、喜多灘駅前の海面から長浜

青島沖 並型漁礁50個投入 費など補正

一般会計に今回三百六十八万一

表彰

～農業祭で～ 内閣総理大臣賞 白滝の奥野岩弘さん



近年、県の蚕繭能率経営競技会においてはほとんど第一位、また近畿中国四国地方繭生産性向上コンクールでは昭和五十年五十二年には農林大臣賞を受賞するなどこれまで数々の上位入賞に輝いている白滝の奥野岩弘さん(六一)。

写真が、昨年の勤労感謝の日を中心に開かれた第十六回農業祭(農林省、日本農林漁業

方面約二キロにおよぶ間の海面三万一千三百七十七平方メートルを立てることに

陳情文書三件 いずれも採択

長浜町九五区(下須戒)の代表(区長)・森岡賢さんから提出されている「下須戒の井関農道新設工事について」、長浜高校PTA会長・大田亀三郎さんからの「長浜高校危険校舎改築にともなう設備器具など整備のための町補助金の援助について」、長浜町一三八区長ほか五団体代表および地区有志からの「行政区域変更についての各陳情書は、いずれも受理採択され、各常任委員会に付託して審議されることになりました。」

大野明良さん(長) 厚生大臣賞

知恵遅れ児の更生指導研究に多大な功勞

県立八幡浜学園(知恵遅れ児童生徒の学園・生徒五十人)で指導係長をされている長浜六区の大野明良さん(四七)写真がは児童



千円が補正されました。おもな使いみちは、青島の弁天崎沖合いへの並型漁礁五十個投入費、予備費。

福祉、中でも精神薄弱児の更生に多大な功勞があったことにより、去年十一月八日に東京の日

比谷公会堂で開催された児童福祉法制定三十周年記念式典および全国社会福祉大会の席上、渡辺厚生大臣から表彰されました。

東豊さん 農業改革30周年 記念事業会長賞



現在、長浜町農業委員会

長であり喜多郡農業委員協議会長でもある白滝の東豊さん(八一)写真が、厳しい

諸条件を克服して農地改革事業を遂行し農業生産力の向上と農村社会の民主化の促進に貢献されるなど、農業委員として優良な功績があったことにより、去年十月二十一日に東京のサンケイ会館で行われた農地改革三十周年記念式典の授賞式の席上、「農業改革三十周年記念事業会長賞」を受けられました。東さんは昭和二十一年十二月か

大野さんは昭和二十九年の同学院開園以来の勤務でこの道の草分けとも言うべき存在、この間献身的な情熱で知恵遅れ児童の指導と更生のための研究を続け、現在では各地から要請を受けて研究発表講演や指導に当たっておられるほか中央の関係誌などにもたびたび学術論文を載せるなど、広い範囲にわたって活躍されており、四十八年にはNHK精薄福祉賞のほか第一回優良県職員表彰で知事賞を、また、二十年以上勤務していて研究・業績のいちじるしい人に贈られるという四十九年に受賞されているばかりか、この一月には福祉関係で愛媛新聞社賞を受けることになっていきます。

ら三十年十二月まで旧白滝村農業委員長、町村合併後は三十一年一月から三十八年六月まで長浜町農業委員会副会長、三十八年七月以降現在に至るまでは同委員会会長を務めているほか、三十八年七月から四十四年六月までは愛媛県農業会議員、四十四年七月からは喜多郡農業委員協議会長も務めて現在に至っています。

柴の野さん 優等賞

～初の町乳牛共進会～

長浜町青果農協主催、長浜町の協賛で今年度(五十二年)から行われることになった長浜町乳牛共進会の第一回同共進会は、町内の酪農家四十九戸が参加して去年十一月十日に本審査が行われた結果、次の通り入賞、表彰されました。

- 未経産(生後六か月以上)の部
- 【優等賞】山本秋広(柴)
- 【一等賞】後藤保夫(戒川) 上満武(柴)
- 【二等賞】湊正盛、大西実(いずれも白滝) 石堂勝重(戒川)
- 【三等賞】村橋敬(穂積) 菊地一夫 豊茂(佐々木昭、谷淵若太郎(いずれも柴))
- 経産の部
- 【優等賞】万野トミ子(柴)
- 【一等賞】村橋敬(穂積) 新勲(白滝)
- 【二等賞】菊地一夫(豊茂) 山城敏幸(柴) 新勲(白滝)
- 【三等賞】宮脇正勝(上老松) 岩井熊男、渡辺利邦、上満新作(いずれも柴)

長浜嵐

年も改まった。長浜嵐もいよいよ本格シーズン。長浜嵐を受ける大橋がここに新しく一つ加わった。「新長浜大橋」世界の文化財的バスキュール式の名橋も当面保存されることになり、弥次郎兵衛式最新工法に成る県下一の近代橋新長浜大橋の二つが並ぶ壮観は外来者の眼を見張らせることだろう▲納涼に釣りに、はては高飛込みから屋台店の話まで、新大橋は人々にさまざまな夢を語らせる。「夢よもう一度」ではなくこれは新しい夢なのだ▲人間に限らずすべて生きとし生けるものには新しい夢がなくては生活に生彩はあるまい。特に人間は千種万様の正夢逆夢吉夢悪夢の数々を描きながらの一生を過す。獏(ばく)のごとく夢を食うて生きる者もあろう。夢なくしては何も動かぬ。夢の中から実現されたものだけが世の中を変えていく▲一年にただ一度、すべての人が良い夢をこいねがう日がある。これ元旦、その初夢は清く楽しく希望に満ちたものであれと願う。これすなわち一年の計の目標とするところ▲毎年正月が来ると思う。正月とは何というよい習慣を作ったものであることよと。日本民族のこの生活の知恵は超大橋の架橋技術や原子力利用の知恵にも増して広大な心の幸福を与え続けてやまないものであろう。

人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町
美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう



	12月1日現在	前月との比較
人口	13,468人 (男 6,410人 女 7,058人)	58人減 (25人減 33人減)
世帯数	3,918世帯	22世帯減



小泉教育長 死去

昭和四十年から四期十二年余に

わたつて長浜町の教育長を務めてこられた小泉茂氏が、さる十二月六日午前零時四十分、悪性シユウウのため亡くなられました。五十六歳でした。
小泉氏は、とくに中学校統合の実現をはじめ小学校の改築、精神的教育面では「長浜が育てる人」と銘打つての教育理念を確立するなど学校教育の環境整備に尽力。社会教育では十地区館・三分館・八十部落館という公民館の組織づくりの実現、館づくりの推進に努める一方、五十一年度からは地域と家庭と学校の一体化を図る地域総合教育の積極的な推進に力を尽くしてこられました。

住所氏名 婚姻届時年齢

沖浦 井上 量俊	(二六)
高松市 横山 千鶴子	(二五)
長浜 浦上 良二	(二七)
黒田 矢野 ひとり	(二九)
黒田 松本 幸子	(二六)
長浜 鶴崎 幸次	(二七)
長浜 立花 房美	(二七)
伊方町 亀岡 敏男	(二九)

住所氏名 死亡時年齢

沖浦 白生 中	(二六)
白生 滝生 土屋	(八一)
榎 柴 上田	(八四)
出海 塩村	(八一)
出海 垣内 定雄	(五九)
柴 宮上 幸三	(七六)
澤田 澤田 トキエ	(八〇)
黒田 矢野 定男	(六九)
豊田 山本 春長	(八〇)
長浜 中伊 マサコ	(五八)
今坊 谷上 勤六	(七五)

大洲・喜多地区では 湊さんが優等賞

去年十一月二十七日に大洲農業高等学校で行われた第二回大洲・喜多地区乳用牛育成共進会で町内からは次の通り入賞、表彰されました。
一部(生後六月) 武(柴) 上満 二部(生後十二月) 湊正盛(白滝) 一等



賞 上満武(柴) 出品頭数は一、二部とも二十頭。
〇長浜小 学校P
T A : 長浜小 学校用
F A ッ 学校用
ク ス 一 台購入
費の 一 部とし

結婚

11月長浜町役場届出分(敬称略)



今月のトップは 井上量俊・千鶴子さんのカップル

おくやみ

11月届出分(敬称略)

住所氏名 続柄 児名

今坊 平岡 宗雄	長女	千里
沖浦 中川 三郎	三女	寛子
今坊 坂本 高義	三男	誠二
沖浦 木之本 安正	二男	義道
沖浦 戎 正	三女	舞
今坊 平岡 万喜夫	長男	洋二

お誕生おめでとう!!

11月届出分(敬称略)

住所氏名 続柄 児名

下須成 中島 芳久	(二六)	
黒田 三好 悦子	(二三)	

編集後記

まずは、編集室からも：
「あけまして おめでとうございませう。あなた様にとつてもよき年でありませう。心からお祈り申し上げますとともに、今年も広報ながはまをよろしくお願ひ申し上げます。」
待ちに待った新長浜大橋の完成、その喜びを新年まで持ち越させて頂き表紙としたほか、応募頂いた「長浜音頭」の歌詩の入賞作品を合わせてご紹介できたことを新年のめでたさとともに大変うれしく思っています。と申しますのも、長浜町では昭和十年に旧大橋・開閉橋ができたときにも「長浜小唄」や「長浜音頭」が作られており、そのタイミングが歴史的なムードで一致したからです。
私の78年。あなたほどのような年の計を立てられたでしょうか。